亜熱帯ビューティフル美ックリレンズ

やんばるに暮らす
生き物たちの素顔

写真と文　久高 将和

リュウキュウアサギマダラ
Ideopsis similis

四季を通し林縁部を飛んでいる水色の蝶。冬を迎え日中の気温が摂氏10度を割る寒い日が続くと、このリュウキュウアサギマダラは海岸寄りに位置する山間部で、幽玄な風の当たらない谷間を選び、数十から数百が群らがり寒さをしのぐ。

蝶の押し合いへし合いの様子は、冷え込む冬季限定の子供の遊びであったオシクラマンジュウと同一の様相があり、その遊びの経験者には驚きと笑みが同時に湧き出るような趣がこの蝶の谷には漂う。

久高 将和（くだかまさかず）
1951年沖縄県東村生まれ　国頭村在住
写真家・環境カウンセラー
やんばるの自然や生活文化を地元ならではの視点で撮影し紹介する傍ら、「やんばる国頭塾」を主宰し、やんばるの地に育まれた生活文化に学ぶツーリズムの確立を目指し精力的に活動している。